

# 第4回公園づくりワークショップ 開催報告

平成28年1月28日(木)18:30から、女川町役場で、公園づくりワークショップ（最終回）を開催しました。今回は、有識者、町職員も交えて、参加者全員が1つの大きな輪になり、2つのテーマを設けて、議論と意見交換を行いました。

## デザイン会議・清水公園検討部会での検討状況（宇野委員よりご報告）

- 公園整備する上では、誰が維持管理するか考えながら整備しないと財政的にも大変なことになる。今からみなさんの知恵をいただきながら、時には一緒に汗を流していく必要がある。
- 12畝の広い土地なので、最初の段階でどこまで整備するか？ 一気に整備して、後々使われない場所にならないよう慎重に考えるべき。

## テーマ① アイデアの深堀・具体化、清水公園の役割等

### アイデアの深堀・具体化

#### キャンプ場について

- 水とふれ合える上流部に設置する方が良い。
- 現エルファロ近隣に設置すると、生活空間と近くなり非日常性を求めるキャンプに合わないと思う。
- 広場と火が使えるればキャンプは楽しめる。

#### パークゴルフについて

- 町外から人を呼ぶのであれば、4ホール（36コース）は欲しい。公式試合もできればよい。
- 1日プレーして500円程度の利用料金。
- グランドゴルフよりパークゴルフの方が楽しい。
- 愛好者でのコース運営はハードルが高い。

#### グラウンドの整備について

- パラリンピック選手の練習場にできるように整備してはどうか。
- 陸上の公式競技をする場合は、倉庫が必要だが、今の計画では倉庫スペースがない。

### 清水公園のあり方

#### 子どもの日常の遊び場所として

- 小中学生が帰宅する動線も考えて、住宅地内の公園も踏まえつつ、立ち寄ってもらえる工夫を。
- 中学生が自転車でも行けるように、安全面の確保も必要。

#### 高齢者への配慮

- 車の動線だけでなく、歩道橋や階段の設置等、高齢者や歩行者への配慮を。
- 高齢者のことも考えて、健康遊具等の運動ができるものがあればよい。

#### 公園のあり方

- 町の規模や近隣施設も考慮しながら、我々の身の丈に合ったものを整備すべきではないか。
- 大人の都合や見せるための公園は必要ない。
- 利用者のいる部分から段階的な整備がよい。
- イベント時の駐車スペースとして活用すべき。



### 観光交流エリア等とのすみわけ意見

#### ジョギングコースについて

- 海辺は平地、清水は起伏のある地形なので、それぞれに特徴を生かしたコースが作れる。

#### カフェ・売店の設置について

- 公園にはなくてもよいと思う。必要であれば、各自で持ち込めばよい。

#### 芋煮・BBQスペースについて

- 芋煮ができる、火が使える場所は必要。（公園・川沿いは芋煮、海辺は海鮮BBQ）
- 世代を超えた教え合い・コミュニケーションの場にもなる。

#### ストリート系スポーツの設備について

- スケボーは、出来そうな場所を見つけて遊ぶ。公園にランプを設置する必要性は感じない。
- スケボーをする人は、みんなから注目される海辺でしたいと思う。
- ボルダリングは金華山の崖でできる。清水にはそのような崖はない。
- 女川でスラックラインが普及し始めている。
- ストリート系スポーツの場を清水公園につくても子どもは行かないと思う。商業エリアに作って、お店の人が見守れる環境にあった方がよい。

## テーマ② 「今から、みんなで、できること」

### ◆ 公園の有効活用に向けた企画の検討

- 小学校のPTA行事で、山形県の方に来てもらったの芋煮会や、球技大会などを実施している。それらが清水公園でできるのであれば、今から学校などに働きかけていくことが出来ると思う。

- 町外から来る人に、公園でのゲーム・イベント、スポーツで楽しんでもらいつつ、帰りに女川の他の魅力も提供できるような、コラボレーションを企画していくことも必要ではないか。（「遊び・スポーツ」×○○）

- アートも含めて、色々なジャンルにおいて、自由に使える場所があればクリエイティブな活動が生まれる。青空ワークショップもよい。

### ◆ 公園の維持管理

- 行政区の老人クラブや婦人部等の年間行事に組み込んでもらって、ごみ拾いや草刈り等の「グリーン作戦」であれば可能なのではないか。

- ゴミ拾い・掃除。熊野神社の例大祭で、各地区の氏子が集まって、場所を決めて掃除した。個々に掃除するのではなく、日と場所を決めて、みんなでグリーン作戦をしてもよいのではないか。

- 自然や動植物との共生を考えると、完成形の森になるにはおそらく20年近くかかると思う。20年のタイムスパンでみんなで作っていきければいいのではないか。

- 公園周辺は夜間無人地帯になるため、鹿対策をどうするかは重要。鹿の食害、糞害も想定して検討していくことが必要。

### ◆ より良い公園にするための意見交換・取組の継続

- 関わりを持って行くという意識づけが必要。そのためには、どのように関わりを持っていけるかを、ワークショップなどでとことん話し合うべき。

- 大人だけの意見ではなく、子どもたちの意見も尊重してほしい。大人が考えているような使い方はしないので、子ども達にも選択肢のあるような公園づくりの検討ができればよい。

### ◆ 今からできる、アクション

- 使う側として楽しむだけでなく、自分以外の人たちにも目を向けられるようになりたい。色々な世代が交流できるような工夫があればよい。

- 大人が子どものことを知るためにも、みんなが集まって顔見知りになれるような仲になっていくことが大切。町民運動会などは、お互いを知るいい機会だった。

- このような場で話し合っているだけでなく、外に出て芋煮会をみんなで一度してみよう。

- 苗木は急には育たない。今から、町民の皆さんがプランター等で育てて、その木を移植すれば、自分たちが育てた木として愛着がわくのではないか。



## 総評（町長より）

- 復興の時間軸とは別に、次世代に伝えていくことにもつながる取組もあるのではないかと、思いながら、皆さんの議論を聞いていた。
- 一方で、事業として進めるために、決めていかなければいけないところも多々あることも改めて感じさせてもらった。
- 何れのタイミングで、専門家の意見も踏まえて、決定事項等を皆さんにご報告する機会を設ける予定である。
- 今日は、「公園をどうするか」のホンネの部分が多く出していただいた。次の作業を詰めていくための意味のある意見を頂けたと思っている。また、見せる公園はどうか等、示唆に富んだお話しも頂いた。
- 皆さんのお力・知恵もお借りしながら、作業として進めるべきものは、きちんと進めていければと思う。